



2023年3月27日

各 位

会 社 名 株式会社リベロ
代表者名 代表取締役社長 鹿島 秀俊
(コード番号:9245 東証グロース)
問 合 せ 先 常 務 取 締 役 横川 尚佳
経営管理本部長
(TEL. 03-6636-0300)

上場維持基準の適合に向けた計画に基づく進捗状況について

当社は、基準日である2022年12月末時点において、東京証券取引所グロース市場の上場維持基準を充たしていないことから、下記の通り上場維持基準の適合状況に向けた計画書を作成しましたので、お知らせいたします。

記

1. 当社の上場維持基準の適合状況及び計画期間

当社の、2022年12月末時点における東京証券取引所グロース市場の上場維持基準への適合状況は、以下の通りであり「流通株式比率」について上場維持基準を充たしておりません。当社は流通株式比率に関して上場維持基準を充たすための期間を2024年12月末までとし、各取組を進めてまいります。

	株主数 (人)	流通株式数 (単位)	流通株式 時価総額(百万円)	流通株式比率 (%)
2021年9月28日時点 (新規上場日時点)	—	5,105 単位	714 百万円	9.7%
2022年12月31日時点	904 人	7,007 単位	600 百万円	13.1%
上場維持基準	150 人	1,000 単位	500 百万円	25%
当初提出した計画期間	—	—	—	2024年12月末

※当社の適合状況は、東証が基準日時点で把握している当社の株券等の分布状況等をもとに算出を行ったものとなります。

2. 上場維持基準の適合に向けた取り組みの実施状況及び評価（流通株式比率）

当社の上場維持基準の適合に向けた取り組みの実施状況は、当初計画の代表取締役社長である鹿島秀俊とその他役員「以下(役員)」が保有する株式の売却を前提とした協議を進めてまいりましたが、具体的な売却手法および売却時期の決定には至らず、2022年12月期において役員が保有する株式の売却はございませんでした。しかし、事業法人等の保有割合が減少したことや当社

従業員が新株予約権を行使した影響により、流通株式比率が前回開示時点（2021年12月14日開示「新市場区分の上場維持基準の適合に向けた計画書」）から3.4%改善される結果となりました。

3. 上場維持基準の適合していない項目の状況を踏まえた今後の課題と取組内容

当社の流通株式数は、700,750株（基準日時点）と少なく、短期間に大量の株式を市場に供給することは株価形成においてマイナスの影響が大きいことが課題であります。上場維持基準を充たさない流通株式比率を改善させるための今後の取組みとしましては、役員が保有する株式について具体的な売却手法および売却時期の協議を継続して実施してまいります。具体的な内容が決定した際には速やかに公表いたします。

以上